



シリーズ豊前市 SDGs とは？

“誰一人取り残さない持続可能な社会”を実現する世界共通目標である SDGs。全部で 17 個ある SDGs の目標を、地域の視点を取り入れ、そして一人一人ができる取組事例を取り入れて、毎月 1 つずつご紹介していく 2022 年 1 月から開始した連載です。地域の未来のために、私たちと私たちの大切な人が持続可能であるために。豊前で始める最初の第一歩。毎月 SDGs を一緒に学びながら、**自分にできることを一緒に始めていきましょう。**

目標 10 「人や国の不平等をなくそう」

国と国の不平等を減らす

同じ国の中にある不平等を減らす



世界には、生まれた国、人種、民族、宗教、性別、障がいの有無、性的指向など、本人に責任がないにもかかわらず、不利益を被り、差別を受けている人が沢山います。このような不平等により、貧困に陥り、また貧困から抜け出せないことで、時に争いが生まれることもあります。これらの違いがもたらす不平等を減らすことは、世界の幸せのためにとっても大切です。世界の人口は約 78 億人。そのうちもっともお金持ちの 2,000 人は、貧しい人たち 46 億人分よりたくさんの資産を持っています。貧富の差による命の格差も問題です。病気を治す薬が無くて 5 歳未満で死亡する子どもの数は 5 秒に 1 人といわれていますジェンダー格差も問題です。農村部女性の出産時死亡確率は都市部女性の 3 倍、世界中の女性議員の割合は全体の 2% です。



豊前市の取組 | 多文化共生を推進しています

様々な国や地域それぞれの文化を知り
ともに生活する仲間として支えあう

世界でも人種や民族の違いがもたらす不平等を減らすことがとても重要視されています。豊前市では、近年とりわけ技能実習生としてアジア諸国出身の市民が増加し、令和 4 年 9 月 1 日現在の住民登録状況では 390 名近い外国籍の方々が生活しています。このような背景もあり、豊前市は、様々な国や地域、それぞれの文化を知り、受け入れ、共に生活する仲間として支え合う「多文化共生」の取組を推進しています。誰もが安心して暮らせるまち、住みやすいまちを実現するために、多文化共生コーディネーターの地域おこし協力隊ニユンさんが「BIC (Buzen Information Channel)」を開設し、SNS を通して豊前市から生活・イベント・防災等の情報を伝え、相談対応しています。市では多言語で提供している防災メールの登録促進や、外国人と地域とのトラブルとしてよく挙げられるゴミ出しについて、4か国語でゴミの分別とごみ収集のスケジュールをお知らせし、また、在住外国人に対し「日本語教室」を月2回、日本語学習の支援として開催しています。「やさしい日本語」の普及にも取り組んでおり、地域住民と外国人籍住民とのコミュニケーションを取りたいと思う気持ちを培い、その具体的な手法を学ぶことは、地域の住民と気軽に話せる住みやすいまちづくりにもつながっています。豊前市では今後も、国籍や人種を問わず、お互いが支えあい安心して暮らせるまちづくりに取組んでいきます。

お問合せは 豊前市 国際共生推進室 ☎82-1122

SDGs の主人公はわたしたち

身近なところにある SDGs

一人一人ができる取組事例



目標 10 「人や国の不平等をなくそう」は「国と国の不平等を減らすこと、同じ国の中にある不平等を減らすこと」を目標としています。今回ご紹介する取組以外にも、個人でできる取組はたくさんあります。まずは新聞や公共施設など周囲に目を向け、身近に自分ができ取組みが紹介されていないか、そしてヒントが隠れていないか探し、できることから始めましょう。

<わたしたちにもできること>

- ① 国や人種、障がいの有無、性別の違いなど、お互いの違いを認め合い、理解すること
- ② 募金やボランティア(ホストファミリー・語学・文化講師)、地域の啓発イベントなどに参加すること
- ③ 手話、点訳、音訳、要約筆記などに興味を持つこと

株式会社ニコン日総プライム 水谷洋司(英国 CMI 認定サステナビリティ(CSR)プラクティショナー)